

市の除排雪の取り組みの理解が深まる! 密着!除雪センター24時 (ワークショップ)

学年・単元 4年:[社会科]第7単元「くらしを守る」→小単元3「雪とくらす」
6年:[総合的な学習の時間]キャリア教育として取り扱う単元(例示する職業の一つとして)

学習効果UPポイント ●大雪による被害などを単元の導入で知っておくと、より重要性を感じられる!
●事前に「札幌市はたくさん雪が降るのにあまり不便を感じないのはなぜか?」という疑問をもっておくと、働く人の工夫に目が向く!

1 背景と取組のねらい

札幌市では、12月1日から3月下旬までの間、除雪センターを開設し、24時間休みなく、除雪作業に関わる様々な判断、市民からの要望受付、道路パトロール、緊急対応指示を行い、冬みちにおける道路利用者の安全確保、冬みちの円滑な交通の確保に努めている。除雪センターは除雪作業の基幹施設として位置づけられるが、具体的な業務内容は知られていない。この体験授業では、除雪センターが実施している仕事を時間帯・役割分担(“除雪センター長”“除雪主任”“パトロール主任”“電話オペレーター”)のクイズにし、グループ毎にその役割になったつもりで話し合いながら回答する。

ねらい 仕事内容や24時間開設の意義、苦勞、工夫などについて学習する。

2 実施内容

(1)クイズの概要

- ・除雪センター職員(センター長、除雪主任、パトロール主任、電話オペレーター)になりきる。
 - ・時間帯ごとの仕事について話し合い、3択から回答する。
- [幹線除雪のクイズでは、回答者に模型(グレーダーとショベル)を使って除雪も行ってもらう]

仕事内容 ①センター長:天気予報(降雪予報)に基づく除雪出動判断 ②除雪主任:幹線道路の除雪方法 ③パトロール主任:現場パトロールに基づく、緊急対応実施判断 ④電話オペレーター:緊急対応電話受付

●仕事の作業スケジュール(例) :クイズ問題 ※その他の作業内容は説明のみ

時間	①センター長	②除雪主任	③パトロール主任	④電話オペレーター
16:00 ↓	天気予報確認 当日の出動判断	緊急対応	緊急パトロール(適時)	電話応対
22:00 ↓		安全ミーティング 機械点検	巡回パトロール	
0:00 ↓	作業状況確認 緊急判断・指示	除雪作業開始 作業終了	緊急パトロール(適時)	
6:00 ↓	凍結防止剤散布判断 書類整理等	凍結防止剤散布	緊急パトロール(適時)	電話応対
14:00	緊急判断・指示、凍結防止剤散布判断	緊急対応	巡回パトロール	
15:00		凍結防止剤散布	緊急パトロール(適時)	

(2)授業の様子



事前説明



会議中(センター長になって議論しているところ)



協議結果回答



模型をつかった幹線道路除雪(梯団除雪)回答

目的

除雪センターの実際の仕事をクイズにすることで、24時間開設の理由、仕事内容、仕事の工夫などを理解してもらおう。仕事の工夫では、より深く理解してもらうために広い道路を効率的に除雪するための方法を題材として、除雪車の模型(1/50)と雪(写真は発泡スチロール)を使った除雪の動きを行ってもらおう。

ポイント

“除雪センターは市民の生活を守る重要な仕事をしている”という前提での体験のため、電話オペレーターとパトロール主任の対応は、苦情対応ではなく、“市民の皆さんにとって困ったことが起こった(突発的な事故のようなもの)が、さて緊急対応はどうする”という組み立てとなるようにする。